

桜宮中だより

平成30年10月22日
大阪市立桜宮中学校
10月増刊号 No.15

2018.10.26 桜宮中学校文化祭 韶け～心に響く作品を～

いよいよ、文化祭まであと4日となりました。各学年、部活動とも、舞台発表・展示発表に向け、一生懸命に取り組んでいます。

中間テストが終わり、15日（月）から文化祭準備期間に入りました。この間、皆さんがあれぞれ与えられた役割に責任を持ち、仲間とともに一生懸命に取り組んでいる姿に心温まるものを感じています。

さて、今週金曜日は、いよいよ本番です。そこで、みなさんに、発表成功への秘訣を紹介します。

ある社長が話しておられた「元気な会社の“あいうえお”」です。

「あ」…明るい 厳しい時でも笑顔
「い」…意志が強い 最後までやりぬく
「う」…運がいいと思い込んでいる
「え」…縁を大切にする 周りの人への感謝
「お」…大きな夢を持つ

文化祭に限らず、皆さんはこれから的人生の中で様々なことにチャレンジしていくかなければなりません。その時に、成功するか、失敗するかは、皆さんの心が決めるものです。

スポーツの試合でも、試合前に「負けるのではないか」とちょっとでも思った瞬間、もう勝敗は決しています。不思議なもので、人生は自分が思ったようになっていくものです。成功していくためには、常に、プラス思考でよいイメージを描いていくことが大切なのです。

本番直前に不安を感じてしまったら「自分はできる」と自分の心に言い聞かせてください。残り限られた練習に全力を出し切り、本番では楽しく取り組んでほしいと思います。それでも本番に不安を感じる人は、癒しの詩人・坂村真民さんの詩『念ずれば花ひらく』を唱えてみてください。

ひらいて ひとつ ふしぎと わたしの花が そうして そのたび いつのころからか となえるようになつた わたしも このことばを 口にしていた 母がいつも 苦しいとき 念ずれば花ひらく

ひらいて ひとつ ふしぎと わたしの花が そうして そのたび いつのころからか となえるようになつた わたしも このことばを 口にしていた 母がいつも 苦しいとき 念ずれば花ひらく

みなさんの強く優しい心で、すべての人の心に響く、そしてみなさんの心に残る文化祭となることを期待しています。

3年進路講話 それぞれの進路に向かって

10月5日（金）5・6時間目、3年生は大阪市立都島工業高等学校、大阪産業大学附属高等学校、大阪国際滝井高等学校、興國高等学校の先生方を招き、武道場において進路講話を行いました。

それぞれの学校の特徴や卒業後の進路、高校入試に向けた計画的な学習の必要性、将来の目標を持つことの大切さ、目標があるからしんどいことに立ち向けていけるなど、進路選択や受験に向けて参考になる話を聴かせていただきました。

また、入試は団体戦、桜中生みんなで協力して乗り越えていくこと、家族の人と一緒に力を合わせて乗り越えていくことが大切です、という話が印象に残りました。

3年生は、いよいよ進路決定に向けての重要な時期となっていました。10月31日（水）には保護者対象の第2回進路説明会、11月2日（金）には実力テスト、11月9日（金）～15日（木）には進路懇談会が実施されます。

未来の自分をイメージし、自分の目標を達成できる進路選択をしていってください。

2年生も、11月7日（水）に大阪市立桜宮高等学校、大阪産業大学附属高等学校の校長先生に来ていただき、高校での学習や部活動をはじめとする高校生活について、これから学習の進め方などについてお話しやすく進路講話を実施します。

1・2年生も、進路はまだまだ先と考えず、自分の未来のビジョンを一日でも早く持って、毎日の学習に取り組んでください。

文化祭準備期間 取組風景

